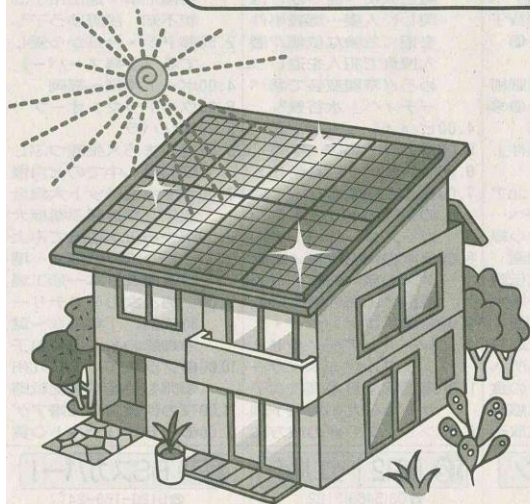


名目GDP600兆円の未来像

既存住宅流通・リフォーム市場の活性化



- ・住宅が資産として評価される既存住宅流通・リフォーム市場の形成
- ・IoT住宅、健康住宅、セキュリティー住宅など、先進的な次世代住宅の普及促進
- ・既存住宅を活用した若年・子育て世代の住宅費負担の軽減

市場規模

2013年

11兆円

2025年

20兆円

少子高齢化と人口減少が進む中、「新たな住宅循環システム」への転換を図る。新築住宅だけでなく、既存住宅の流通・リフォーム市場を活性化して、数十年たっても資産価値がある良質な住宅ストックを流通させる。既存住宅を活用して、若年・子育て世代が低廉な家賃負担で居住できる新たな仕組みを構築し、まちづくりと連携しつつ、地域ぐるみの子育て

環境を整備する。2025年(可能な限り20年)までに既存住宅の市場規模を8兆円、リフォーム市場を12兆円と、それぞれ10年比で倍増させる。

また、IoT住宅、セキュリティー住宅などの次世代住宅については、海外市場を含めた普及促進を目指し、新技術や求められる機能、規格化の調査・検討を進める。